

福祉の「まちづくり」を目指して

桶川市社会福祉協議会 平成15年度事業方針と予算

平成15年度の実業方針及び事業計画、一般会計並びに特別会計予算が3月23日の理事会を経て、3月30日に開催された評議員会において可決されました。事業方針並びに予算の概要をお知らせします。

事業方針・強化課題

福祉ニーズの把握と総合相談

体制づくり

桶川市社会福祉協議会では、「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」をスローガンに、地域ごとのきめ細かい福祉ニーズの把握に努めるとともに、日常生活に関するあらゆる相談に対応できる体制をつくり、とりわけ、高齢者介護に関しては、基幹型在宅介護支援センターを中心に、相談からサービス提供による生活支援、フォローアップ体制の強化を図ります。

福祉への認識と理解の促進

住民の参加と協力による広報誌づくりを努め、ホームページや各種イベントの開催等を通じて、必要な福祉情報を提供し、住民の福祉への認識と理解をすすめます。

また、小・中学校児童生徒の福祉教育活動を積極的に支援します。

地域福祉ネットワークづくり

小地域における福祉活動を促進し、地区社協づくりに積極的に取り組みます。また、地域ふれあい事業実施地区の拡充を図ります。

老人クラブや障害者団体、子育てグループなど当事者団体の活動を支援し、地域における仲間づくりを積極的に推進します。

ボランティア活動の推進

ボランティアアドバイザーの増員を図るなど、ボランティアセンター機能を強化し、ボランティア相談や情報の提供に努め、「ボランティア一人のまちづくり」をすすめます。

また、災害ボランティアの養成や関係機関との連絡会議を開催するなど、災害ボランティアセンターの体制整備を図ります。

在宅生活の自立援助

高齢者や障害者の在宅生活を援助するため、効果的な各種在宅福祉サービスの提供に努めます。とりわけ、サービスの利用促進と判断能力の低下した利用者に対して、地域福祉権利擁護事業（あんしんサポートねっと）の充実を図ります。

障害者支援費制度に基づいて、居宅介護等事業（ホームヘルプサービス及びガイドヘルプサービス）を実施します。

市社協の基盤強化

役員会、各種委員会機能を強化し、健全で透明な運営を目指します。

また、住民の理解と協力を促し、会費を増強するとともに、収益事業や介護保険事業の効率的運営に努め、自主財源の強化を図ります。

平成15年度 一般会計予算について

収入		支出	
勘定科目	予算額	経理区分	予算額
会費収入	8,400,000	法人運営事業	130,914,764
寄附金収入	2,000,000	地域福祉活動センター事業	31,091,400
補助金収入	132,039,400	社協独自事業	28,378,000
受託金収入	119,326,976	共同基金配分金事業	9,608,000
事業収入	4,188,000	老人福祉センター受託経営事業	55,325,000
共同基金収入	9,508,000	老人介護支援センター受託事業	14,771,007
介護保険収入	32,276,000	身体障害者支援事業	16,042,207
障害者支援費収入	7,606,000	高齢者生活援助事業	25,393,794
その他の収入	25,618,792	介護保険事業	32,329,000
前期末支払資金残高	12,802,196	障害者支援費事業	9,778,192
合計	353,765,364	その他の事業	134,000
		合計	353,765,364

単位：円